事業承継ファンドを設立

後継者問題に悩む中小工務店に

ナカザワホールディングス

ナカザワホールディングス（ナカザワHD、大阪府和泉市、中澤秀紀社長）の全額出資子会社で、企業価値向上・事業承継コンサルティングを営むつながり（大阪市、日坂登紀広社長）は9月28日、事業承継ファンド「ご縁ファンド有限責任事業組合（LLP）」を設立した。

日坂　つながり社長

同ファンドでは、投資枠1億円（出資は万円）に設定。後継者不足など事業承継問題に悩む中小の工務店や住宅設備会社等の経営者に、譲渡先である会社がすぐに見付からない場合は対象となる会社の株式を同ファンドが、第三者的立場で一時的に買い取る。また、その株式の新たな引き受け先となる会社候補の選定や企業価値向上などの支援も行う。円滑な経営引き継ぎで会社と雇用を維持して、比較的長期になっても最適な譲渡先を選定できるように設けた。当面は、ナカザワグループの商圏である近畿圏が中心になる見込みだ。

住宅建築・資材関連のM&Aの案件は、20～30%の会社はすぐに買い手が見付かる。だが、一般的に50～60%は、経営状態は悪くないものの、買い手側にとって魅力に欠ける会社が占めているといわれている。同ファンドは、その50～60%の会社を対象としている。

また、同ファンドの実質的な運営を行うつながりは、4月21日に資本金8000万円で設立。経営やマーケティング&セールス、人事（人材、組織）、DX、プロダクト（設計、建設）、経理財務などの領域で企業向上を支援している。そのほかにM&A等の組織再編や事業譲渡、資本提携、業務提携等の斡旋、仲介などに関するコンサル業務を行っている。

日坂つながり社長の話　大手の金融機関やM&A仲介会社が対応しきれない規模の会社が対象で、少しでも中小の工務店や住宅設備会社を事業承継問題から救えればと考えている。個人的な意見だが、将来的に同ファンドなどの取り組みが軌道に乗れば、ナカザワグループの資金は限られているため、業界を巻き込んで投資枠を広げていければと思う。

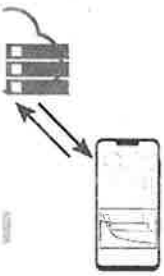
度合いを判定

る乾燥システム開発

ーエー

エーティーエー（東京都、前田富士男社長）が昨年発表し注目されたのが、アンドロイド仕様のスマートフォンに対応する木材強度測定器HG－2020spのシステムを活用して人工乾燥機を24時間モニタリングする乾燥システムDMS－24だ。

同システムでは、HG－2020spにDMS－24に使う専用のアプリをダウンコー



DMS－24の流れ

る。このテストピース材に打ち込んだ釘の変化をもとに、乾燥機内部の情報が乾燥機に取になっている。これにより、乾燥機のある現場に行かなくても24時間スマートフォンで乾燥のデータが確認できる。乾燥機内部の乾球、湿球温度の設定値と実測値、乾燥スケジュールに沿ったテストピース材の含水率の推移、乾燥スケジュールなどが確認できるようなっている。

同社では乾燥、高い材はまだ乾いていないといった問題が起こると捉えた。現在行われている乾燥の選別は、重量法で重い材／軽い材に分ける方式が一般的だが、同社ではこの重量を密度に置き換えるファクターとして強度（ヤング

存の乾燥機にも導入できる。乾燥機メーカーだけでなく、乾燥作業の省力化、業務改善を図りたい製材工場へもPRしていく。同システムは、7日に開幕した日本木工機械展に出品している。

TIMBERAM
～今ここにない形・技術を作り出す～
ティンバラム株式会社
構造用集成材
〒018-1734
秋田県南秋田郡五城目町大川大川字ウツフケ141-1
TEL 018-875-2151㈹

セディアC&Pを設立

渡辺パイプ

渡辺パイプ（東京都、渡辺元社長）は、1日付でセディアC&P（東京都、佐々木雅裕社長）を設立した。資本金は1000万円。

ハウスメーカーや建築業者向けの設備設計サービスの提供、住宅購入者からの住宅に関する相談窓口としてのコールセンターの運営を行う。

移転

★東洋刃物（宮城県富谷市、清野芳彰社長）は、東京事務所（東京営業所、国際事業所、販売管理室）を11日から移転する。▽新住所＝〒103－0007　東京都中央区日本橋浜町2－62－6　日本橋浜町Kビル10階。東京営業所は電話03・6328・2111（代表）、FAX03・6328・2116。国際事業所は電話03・6328・2112（同）、FAX03・6328・2117。販売管理室は電話03・6328・2113（同）、FAX03・6328・2118。

発行日変更と10月新聞休刊日のお知らせ

本紙と本紙電子版は、1日から発行日が月～金曜日に変わりました。

今月から、日本郵便による土曜日の郵便配達がなくなったため、土曜日付を配達できない地域が増えたことを踏まえての変更です。

また、月1回の新聞休刊日が設けられているため、今月は11日付の発行で配達日が前後することが考えられます。

ご理解ご協力をいただきますとともに、引き続きご愛顧のほどどうぞよろしくお願い致します。

日刊木材新聞社